

「地域医療を守る」講演記録 その7 最終回 医療・社会保障政策の大転換を

以上述べてきた国の政策に対して、国民の命を守るには、公的責任で必要に応じて給付を行う医療・社会保障政策の大転換が必要です。

内閣府が公表した「国民生活に関する世論調査」(2019年8月20日)では、国民の3分の2に当たる7割近くが「医療・年金などの社会保障の整備」を求めており、健康や生活に不安を抱えている人が増加してきていることが明らかになっています。

地域医療を支えてきた医療機関は、住民の生活を支える基本インフラであり、健康と命を守る砦です。とりわけ、高齢者にとって医療と生活は切りはなせません。

一人ひとりの心身・生活の状態に即し、「生活の質」「療養の質」を保障する多様な受け皿づくりは、日常生活圏内での“途切れない、医療(介護)サービスのぶ厚い体制”があってこそ初めて成り立ちます。また、住まいの状況を改善することも重要です。

そこで、住民と医療従事者の目線で声を上げ、共同を広げ、自治体とも連携した国に向けた運動を進めていくことが求められています。

コロナ危機のもとで、国民の生命と生活を守るためには、新自由主義に固執する政治と政策を転換し、一人ひとりが個人として尊重され、お互いを支え合う社会をつくることが不可欠です。その土台となるのは、国の社会保障支出と所得再分配機能の抜本的強化です。

次の点を念頭に、命を支える医療・社会保障を取り戻す運動を強めましょう。

- #自らの実情、地域の実態を正確に把握する。(事実の重み)
- #言葉を尽くしてそれを伝える。(伝える力)
- #分断されずに、関心を持ち、連携する。(署名の力)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.707 2021年5月23日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(5月14日現在)

PCR検査実施件数 9421件(前々週+433)
 管内陽性件数 111件(前々週+12)
 上越市内陽性件数 100件(前々週+12)
 陽性率 1.18%(前々週1.10%)

各会場とも活発な意見・質問・要望 議会報告会・意見交換会

上越市議会の議会報告会・意見交換会が、春日謙信交流館(9日)、安塚コミュニティプラザ(10日)、柿崎コミュニティプラザ(12日)、板倉コミュニティプラザ(13日)で行われました。各会場とも、参加した市民から多くの意見や質問が出され、年々議会への関心が高まってきていることがわかります。このうち、春日謙信交流館では、議長や委員長などの報告の後、参加者から、「直江津駅、エール、水族館をアークードで結べないか」「大地震での津波のことを考え、信号機の下に「ここは標高何メートル」という表示をしてほしい」「オンラインパーソンを持ち込んだ市民の声はすべて市長に届いているのか」「水族館のイルカ死亡について検証委員会はプールの大きさは問題なしとしているが、どう考えるか」「ふるさと納税の返礼は、市内のすべてのお店で使えるものと考えてほしい」「保倉川の放水路

北陸信越でオンライン演説会

日本共産党北陸信越ブロックは16日、田村智子副委員長を弁士に迎えて、オンライン演説会を開きました。

新型コロナウイルス感染拡大が進む中、田村氏は入院ベッドの削減を狙う菅政権を批判し、「命とくらしを守る政権、新しい政治をつくろう」と語りました。コロナ対策では、大規模検査、ワクチン接種、事業者支援の3つが緊急に必要なと指摘し、自治体の取組を進める上でも重要な示唆となりました。

各地で合計約6,500人が視聴しました。



の建設を早く進めてほしい」などの質問、意見、要望が出されました。また、柿崎コミュニティプラザでは、参加者から、「ギガスクールは、子どもらだけだけでなく先生方も多忙になるなどたいへんだ。議会からもサポートしてほしい」「オンラインピック・パナが広がるなかで中止すべきとの声も出ている。中止もありうるのではなか」「産廃の最終処分場については柿崎区内で4か所、候補に挙がっている。どうして柿崎に集中したのか」「温浴施設や

キャンプ場なども公の施設の適正配置の対象になっている。町内の集まる場所、みなさんが楽しむ場所がなくなっていく。市はどこまで減らす気なのか」「イルカの防風壁を作るくらいだから、家を守るための防風林の復興をお願いしたい」「聴覚障害者は新型コロナ禍で苦労している。マスクをしていると相手の言うことがわからない。公で会を開く時は、口元が見えるようにできないか検討してほしい」などの質問、意見、要望が出されました。

地域医療を考える学習会

5月30日(日)14:00~16:00 主催：新日本婦人の会上越支部
 上越市市民プラザ第3会議室

地域医療をめぐる新日本婦人の会などの市民団体では、これらのことを上越の地に即した形でより深く学ぼうと、上のような学習会を企画しています。

講師は、元県議会議員で、長岡赤十字病院の看護師長を務めた竹島良子さんです。

大事なことであるだけに、多くのみなさんの参加を期待しているとのこと。

のか、今後どのようなことが計画されているのか、そして私たちの命を守るにはどんな医療が必要なのかを解き明かす講演の記録を連載してきました。

これらのことは多くの市民の関心の的でもあります。